

第2章 簿記の基礎概念

1. 資産・負債・純資産(資本)と貸借対照表
2. 収益・費用と損益計算書

貸借対照表のしくみ:貸借対照表等式(会計等式)

- 下図は Balance Sheet Image を簡素化したものである。

資産	負債
	資本

- Assets(資産)とは、企業の所有する財産のうち、金銭価値のあるものを指す。
- そうした資産の資金調達手段として借り入れや自己資本があり、負債、資本、純資産などと呼ばれる。
- 貸借対照表等式:資産＝負債＋純資産(資本)
- 資産が¥100,000 で負債が¥30,000の場合資本は必ず¥70,000でなければならない。
- 資本の構成要素は:
 - 株主の投資と、
 - 企業が活動によって得た利益。

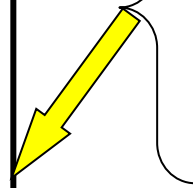
貸借対照表と損益計算書の関係

貸借対照表(試算表)

資産	負債	
	資本	
	-資本金	
	-利益剰余金	
	-当期純利益	300

損益計算書

売上	1,000
仕入	(500)
営業費用	(100)
Xxx	(20)
Xxx	(20)
Xxx	(20)
Xxx	(20)
Xxx	(20)
当期純利益	300



- ・ 会計期間:通常1年間
- ・ 期首:会計期間の始め
- ・ 期末:会計期間の終わり
- ・ 財産法:期末純資産(資本) - 期首純資産(資本) = 当期純利益(または当期純損失)
- ・ →しかし、実際には他の理由で資本が変化するので実務的ではない。

収益・費用と損益計算書

- ・ 損益計算書は貸借対照表の一部(利益)の詳細を示している。
- ・ テキスト(p. 9)では、この利益を増やす要素(収益)を右に、つまり貸借対照表の当期純利益を増やすものとする。
- ・ 反対に利益を減らす要素(費用)は左に記入する。
- ・ 下の表は当期純利益を左に示しているが、実際は難しい考えで、ここでは会計等式を成り立たせる、と考えておこう。

損益計算書

費用 700	収益 1,000
当期純利益 300	

損益計算書

売上	1,000
仕入	(500)
営業費用	(100)
Xxx	(20)
Xxx	(20)
Xxx	(20)
Xxx	(20)
Xxx	(20)
当期純利益	300